自然浴さんぽ路2型

取付説明書

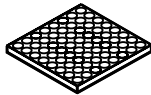
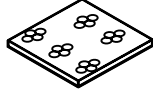
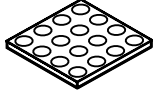
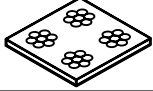
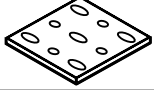
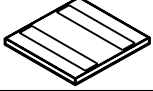
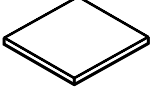
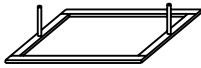
●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

注意

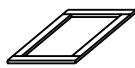
- 正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- 設置場所の確認をしてください。
  - ・このシステムは室内専用です。屋外には設置しないでください。
  - ・水気に近い場所、湿気の多い場所には設置しないでください。
  - ・製品が納まるスペースがあるか再度確認をしてください。
  - ・スタート位置及び回転方向を設定してください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 本体枠と床との固定が可能かどうか確認してください。
- サークルタイプの施工では、必ず閉じた形でプランを設定してください。サークルタイプ用の本体枠を直線での施工には絶対に使用しないでください。本体枠が倒れるおそれがあります。

＜施工上のご注意＞

注意

- 本体の施工・組付けは施工店様が行ってください。
- 本体枠の施工・取扱いの際は、2人以上で行ってください。
- ボルト・ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 本体枠は床へ固定してください。
- 商品の改造は絶対にしないでください。
- 歩道板をはめ込んだ時の隙間は、歩道板の温度変化による伸縮を考慮したものです。隙間が目立つ場合には、9-3 の手順で対応してください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取り除き、誤ってキズをつけた場合は弊社純正補修塗料で補修してください。

200111A

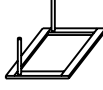
■梱包明細書

1歩道板

名　称	略　図	員　数						
		歩道板 SS−1	歩道板 SS−2	歩道板 SS−3	歩道板 SS−4	歩道板 SS−5	歩道板 SS−6	歩道板 SS−10
歩道板 SS−1		1	−	−	−	−	−	−
歩道板 SS−2		−	1	−	−	−	−	−
歩道板 SS−3		−	−	1	−	−	−	−
歩道板 SS−4		−	−	−	1	−	−	−
歩道板 SS−5		−	−	−	−	1	−	−
歩道板 SS−6		−	−	−	−	−	1	−
歩道板 SS−10		−	−	−	−	−	−	1

2直線タイプ基本枠1800セット

名　称	略　図	員　数
直線タイプ基本枠1800		1
柱設置スペーサー		2
アンカー穴用キャップ		4
歩道板設置スペーサー		2

3直線タイプ延長枠1800セット

名　称	略　図	員　数
直線タイプ延長枠1800		1
柱設置スペーサー		1
アンカー穴用キャップ		2
歩道板設置スペーサー		2

4直線タイプ端部枠セット

名　称	略　図	員　数
直線タイプ端部枠		1
アンカー穴用キャップ		2

5直線タイプステップ台セット

名　称	略　図	員　数
直線タイプステップ台		2
5-① M8X20六角穴付ボタンボルト		8
5-② M8バネ座金		8
5-③ M8平座金		8

6サークルタイプ基本枠600セット

名　称	略　図	員　数
サークルタイプ基本枠600		1
柱設置スペーサー		2
アンカー穴用キャップ		4

200111A

7 サークルタイプ基本枠1800セット

名　称	略　図	員　数
サークルタイプ基本枠1800		1
柱設置スペーサー		2
アンカー穴用キャップ		4
歩道板設置スペーサー		1

8 サークルタイプ延長枠1800セット

名　称	略　図	員　数
サークルタイプ延長枠1800		1
柱設置スペーサー		1
アンカー穴用キャップ		2
歩道板設置スペーサー		1

9 サークルタイプコーナー枠セット

名　称	略　図	員　数
サークルタイプコーナー枠		1
アンカー穴用キャップ		4

10 手すり柱セット

名　称	略　図	員　数
手すり柱H800－T（1段ビーム）		1
10-① M4×16丸サラ小ネジ		4

11 手すりビーム

名　称	略　図	員　数							
		手すり両側R単独ビーム1800	手すり片側R基本ビーム1800	手すり片側R基本ビーム1800	手すり単独ビーム600	手すり単独ビーム1800	手すり直線基本ビーム1800	手すり直線端部ビーム1800	手すり延長ビーム1800
手すり両側R単独ビームセット1800		1	—	—	—	—	—	—	—
手すり片側R基本ビームセット1800		—	1	—	—	—	—	—	—
手すり片側R端部ビームセット1800		—	—	1	—	—	—	—	—
手すり単独ビームセット600		—	—	—	1	—	—	—	—
手すり単独ビームセット1800		—	—	—	—	1	—	—	—
手すり直線基本ビームセット1800		—	—	—	—	—	1	—	—
手すり直線端部ビームセット1800		—	—	—	—	—	—	1	—
手すり延長ビームセット1800		—	—	—	—	—	—	—	1

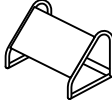
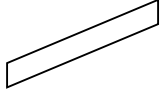
200111A

■梱包明細書　つづき

⑫手すりトップビームブラケットセット

名　称	略　図	員　数
ビームブラケット		1
ビームインナー		1
⑫-① M8X30六角穴付ボタンボルト		1
⑫-② M8X20六角穴付ボタンボルト		2
⑫-③ M8六角袋ナット		1
⑫-④ M8バネ座金		3

⑬手すり端部トップビームブラケットセット

名　称	略　図	員　数
ビームブラケット		1
⑬-① M8X30六角穴付ボタンボルト		1
⑬-② M8X20六角穴付ボタンボルト		2
⑬-③ M8六角袋ナット		1
⑬-④ M8バネ座金		3

⑭手すりコーナーブラケットセット

名　称	略　図	員　数
コーナーブラケット上		1
コーナーブラケット下		1
⑭-① M8X30六角穴付ボタンボルト		1
⑭-② M8X20六角穴付ボタンボルト		4
⑭-③ M8バネ座金		5

⑮案内サインセット

名　称	略　図	員　数
案内サイン		1
スタートシール		1
取付説明書（F187）	ー	1
取扱説明書（UF024）	ー	1

1. プラン ※図は左回りの例です。

1-1 直線タイプ

(1) プランA－1

200111A

(2) プランA−2

3610
2256
1364
スタート位置
734
640
案内サイン

手すり片側R基本ビームセット1800
手すり片側R端部ビームセット1800
ビームインナー
ビームブラケット
手すり柱H800−T
(1段ビーム)
A部
直線タイプ基本枠1800
直線タイプステップ台
直線タイプ端部枠
直線タイプ延長枠1800

(3) プランA−2を延長する場合

手すり延長ビームセット1800
ビームインナー
ビームブラケット
手すり柱H800−T
(1段ビーム)
直線タイプ延長枠1800

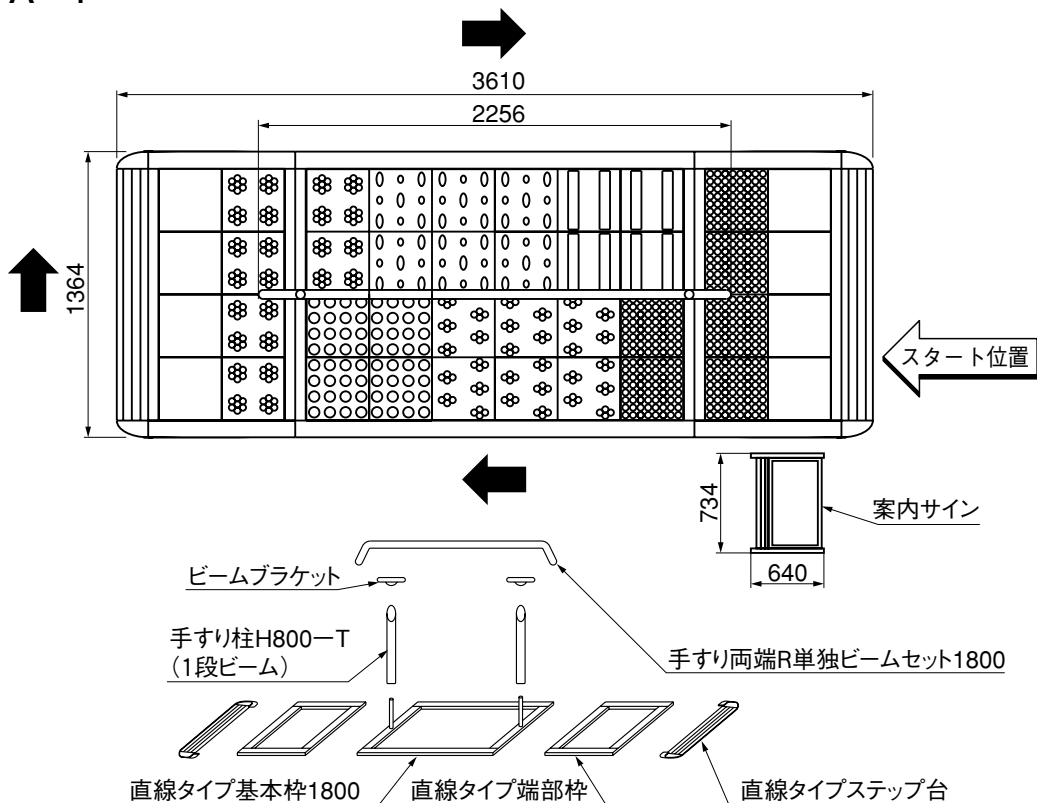
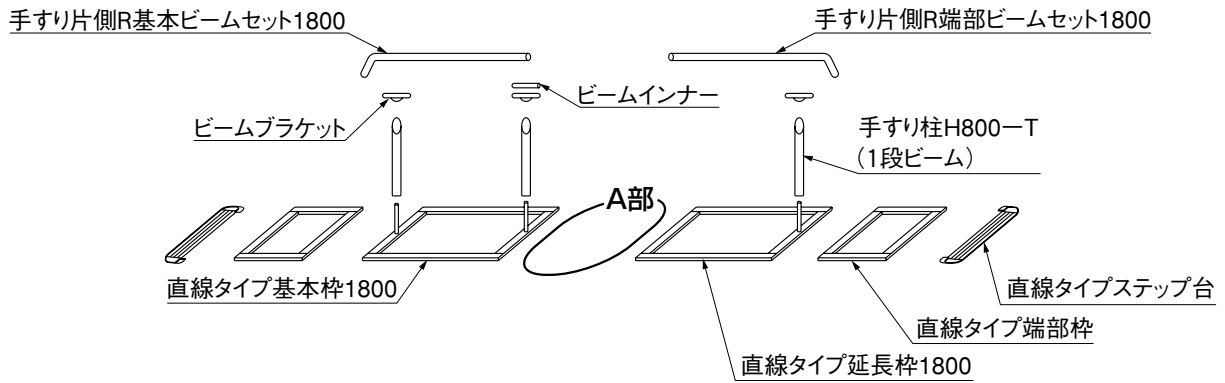
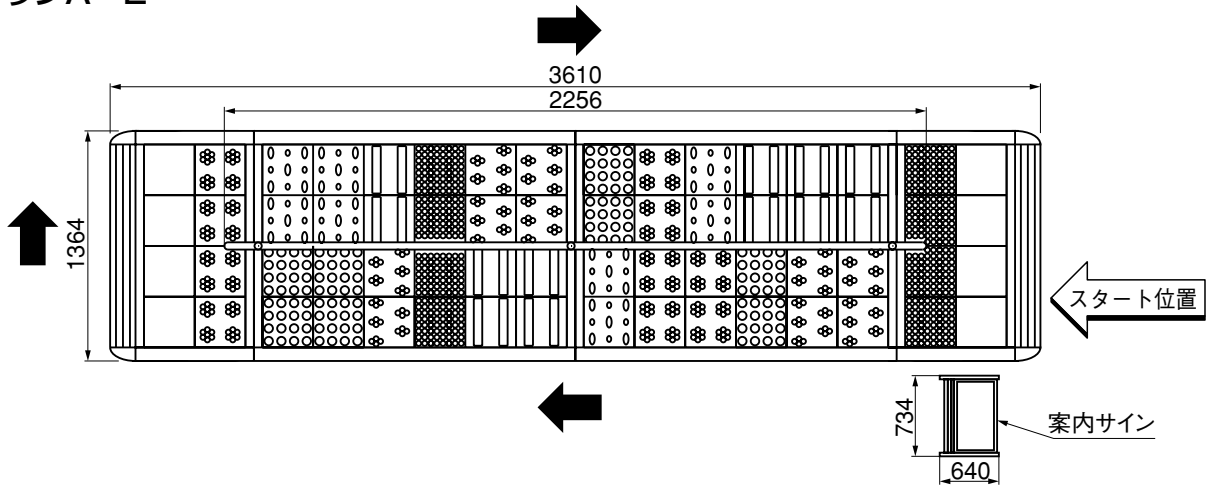
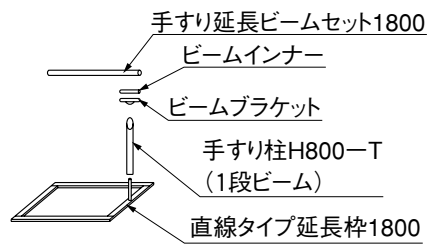



図1-1　A部延長部材

❶「(2)プランA-2」のA部に「直線タイプ延長枠1800セット」と、「手すり柱セット」、「手すりトップビームブラケットセット」、「手すり延長ビームセット1800」、「歩道板」を必要数使って延長してください。

ポイント

- 延長は「直線タイプ延長枠1800セット」単位になります。

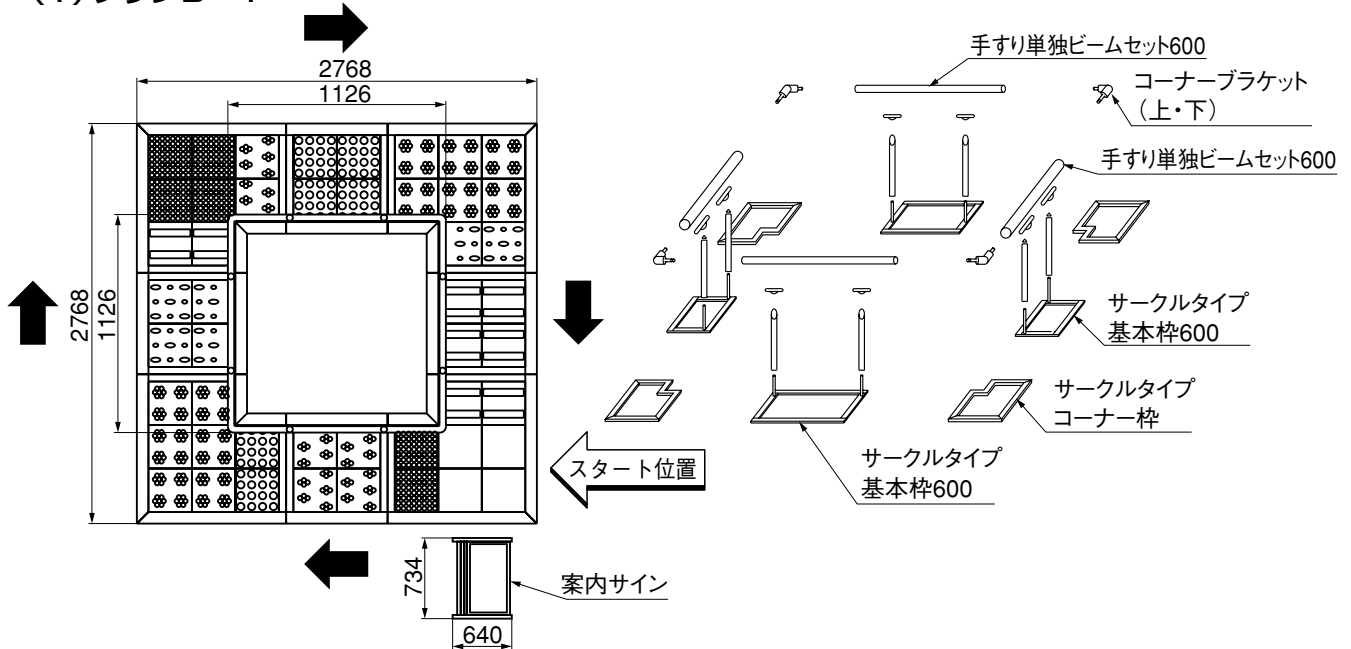
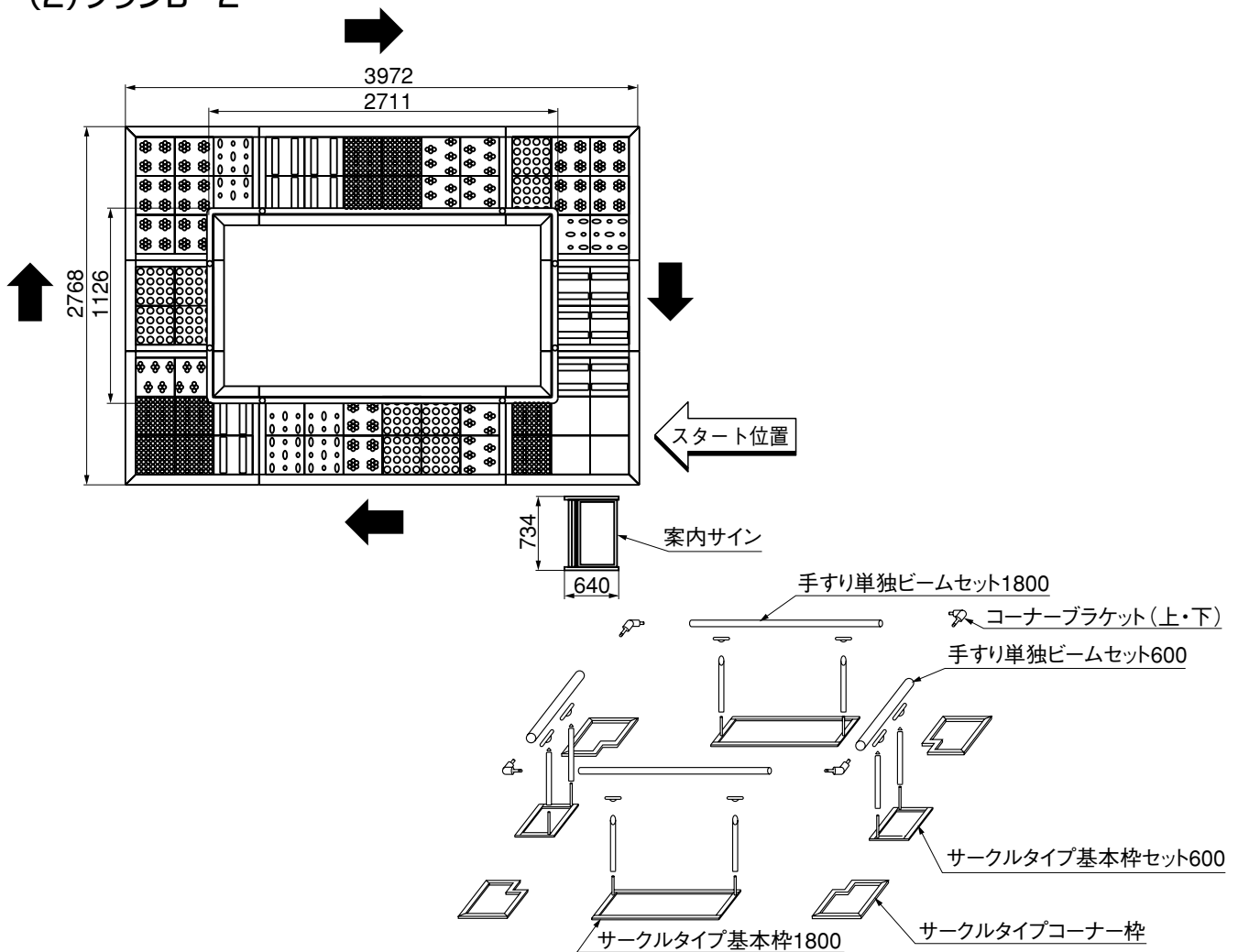
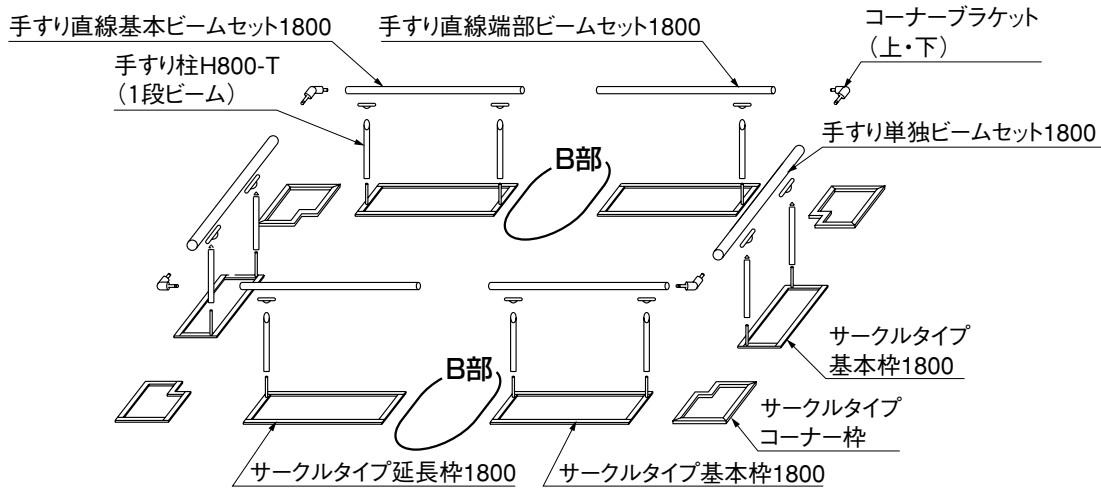
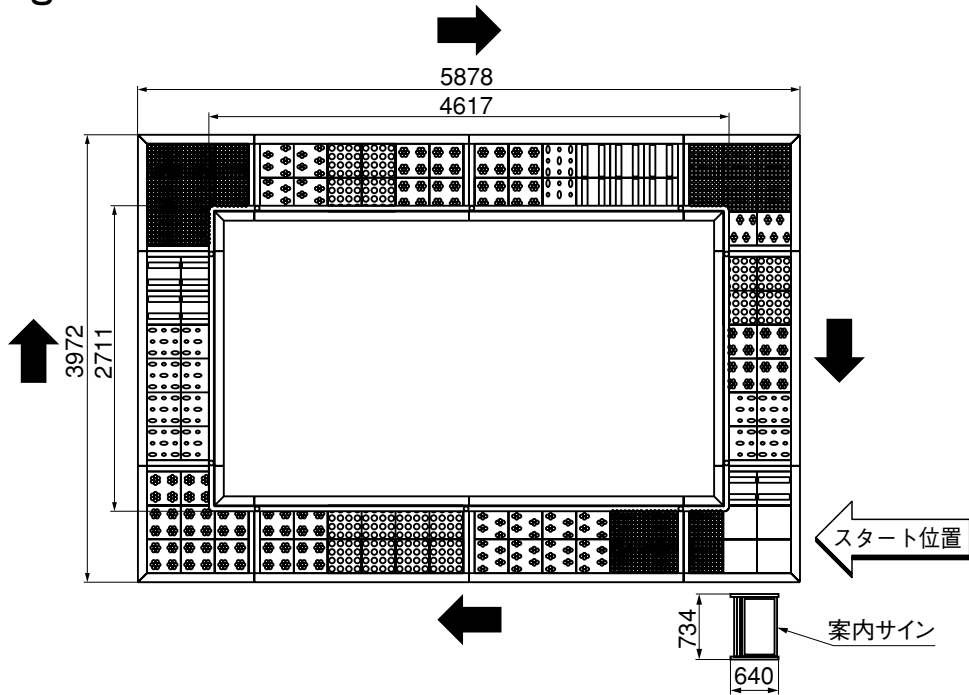
200111A

1. つづき

1-2 サークルタイプ

(1) プランB−1

(2) プランB−2

E140_200312B

(3) プランB−3

(4) プランB−3を延長する場合

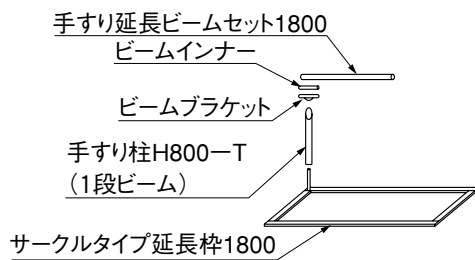



図1-2　B部延長部材

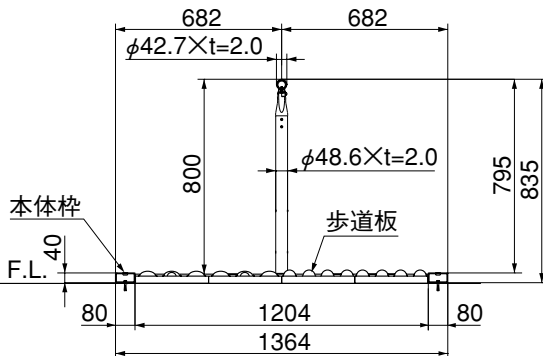
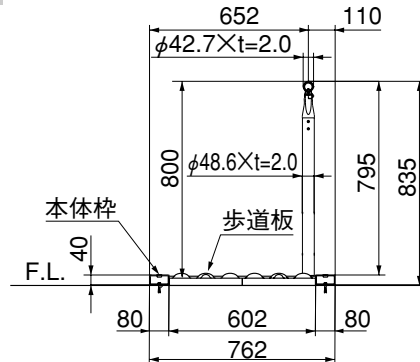
❶「(3)プランB-3」のB部に「サークルタイプ延長枠1800セット」と、「手すり柱セット」、「手すりトップビームブラケットセット」、「手すり延長ビームセット1800」、「歩道板」を必要数使って延長してください。

ポイント

- 延長は「サークルタイプ延長枠1800セット」単位になります。

200111A

2. 基本寸法

2-1 直線タイプ

2-2 サークルタイプ

3. 床固定方法

3-1 床がコンクリート、タイル系の場合 ※M6グリップアンカー・ボルトを現場で手配してください。

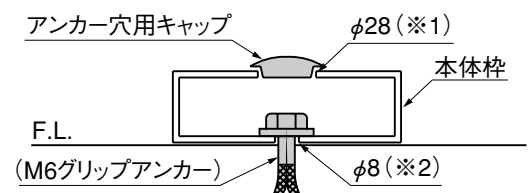
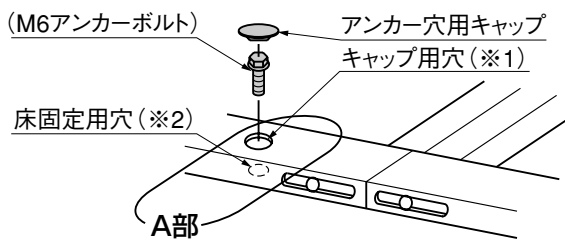



図3-1 A部アンカー施工断面

❶本体枠を仮置きして、床固定用穴位置(※2)の床面にマーキングをしてください。
❷M6グリップアンカー付属の説明書にしたがってマーキングした位置に下穴を開けてください。
❸M6グリップアンカーを下穴に打ち込んでください。

ポイント

- アンカーはM6グリップアンカーを使用してください。ラチェットレンチを使用するため、オールアンカーなどのボルトが突き出るものは使用しないでください。

❹本体枠・手すりを組付けた後、M6用アンカーボルトを本体枠のキャップ用穴(※1)と床固定用穴(※2)に通して、本体枠を床に固定してください。この時、M6用ラチェットレンチを使用してください。
❺キャップ用穴にアンカー穴用キャップをはめ込んでください。

3-2 床が木材系の場合 ※木ネジ・鬼目ナットなどを現場で手配してください。

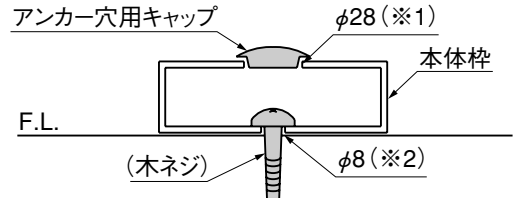
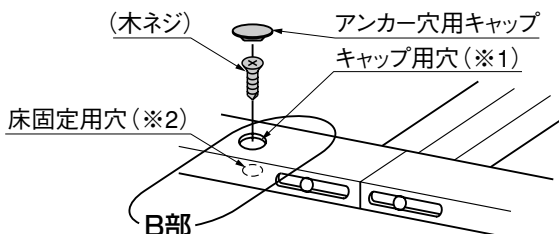
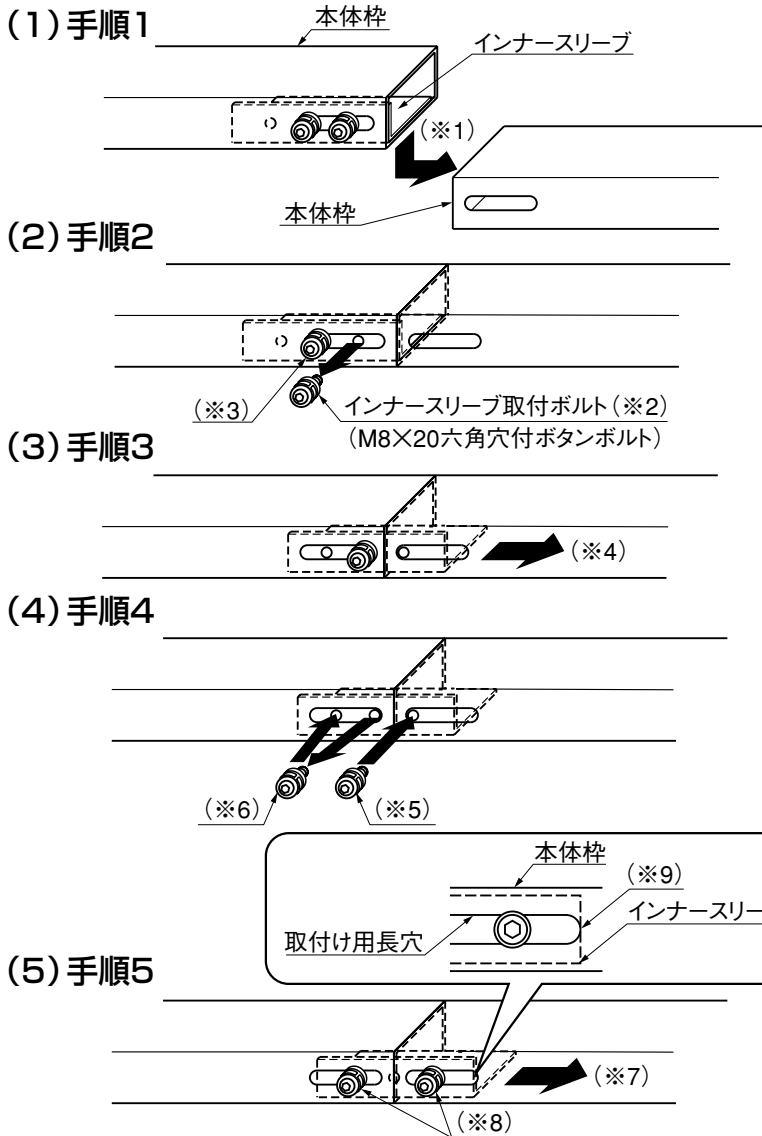



図3-2 B部木ネジ施工断面

❶本体枠、手すりを取付けた後、木ネジなどを本体枠のキャップ用穴(※1)と床固定用穴(※2)に通して、本体枠を床に固定してください。
❷キャップ用穴にアンカー穴用キャップをはめ込んでください。

ポイント

- 鬼目ナットを使用する場合には、本体枠、手すりを組付ける前に、3-1 のアンカー施工と同様に、床に下穴を開けて鬼目ナットをはめ込んでください。

4. 枠連結方法

❶各本体枠を付け合わせてください。(※1)

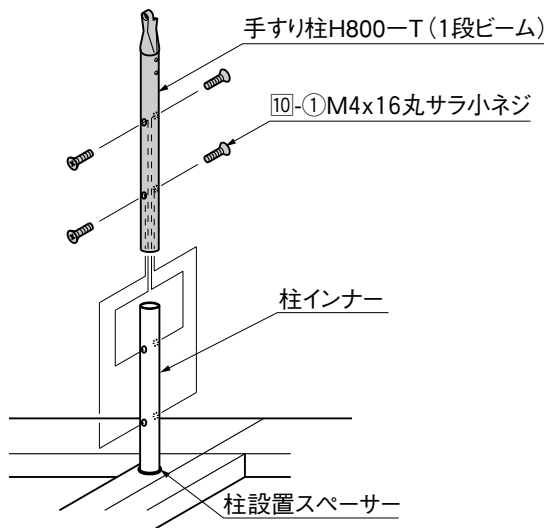
❷本体枠の端部側インナースリーブ取付ボルト(※2)は外し、もう一方(※3)はゆるめてください。
❸インナースリーブを隣の本体枠内にスライドしてください。(※4)
❹インナースリーブのタップ穴に、外したインナースリーブ取付ボルト(※5)を仮止めし、ゆるめたインナースリーブ取付ボルト(※6)も隣のタップ穴へ移動して仮止めしてください。
❺インナースリーブを枠間の中心に移動して(※7)、インナースリーブ取付ボルト(※8)を本締めしてください。

⚠注 意

- インナースリーブは、取付け用長穴に隙間ができないように(※9)位置を調整して固定してください。
  指をひっかけてけがをするおそれがあります。

補 足

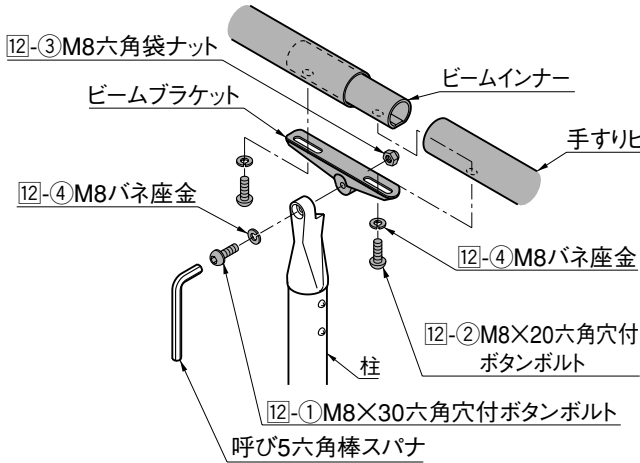
- インナースリーブは梱包時、延長枠・端部枠・コーナー枠内に仮組みしています。
- 呼び5六角棒スパナを使用してください。

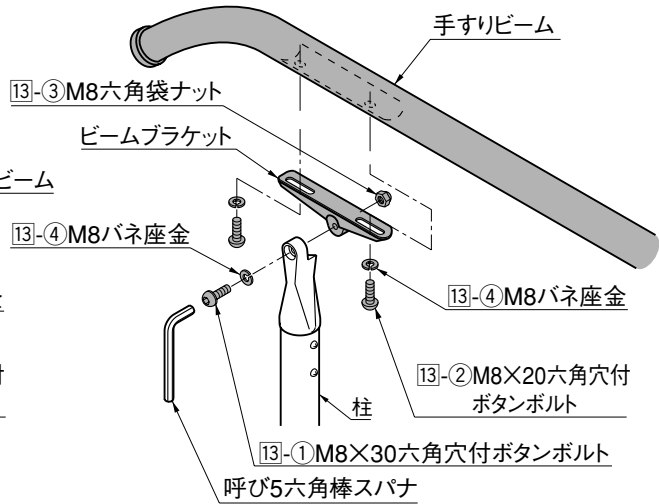
5. 手すり柱取付け

❶柱インナーへ手すり柱を差し込んでください。
❷10-①で手すり柱を固定してください。

⚠注 意

- 柱設置スペーサーは、溶接部の隙間隠し及び柱切断面から足を保護するために必要です。はずさないようにしてください。

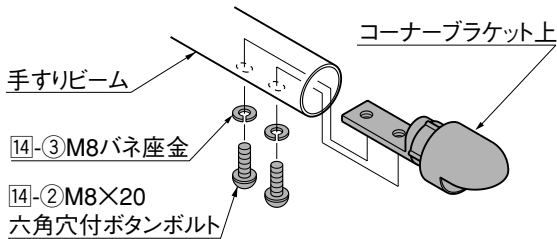
6. 手すりビーム・ビームブラケットの取付け

6-1 ビームインナーを取付ける場合

❶[12]-①、[12]-④、[12]-③でビームブラケットを柱に取付けてください。
❷ビームインナーを手すりビームに差し込み、[12]-②、[12]-④で手すりビームをビームブラケットに取付けてください。

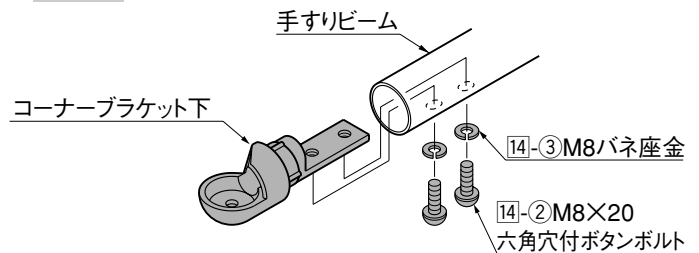
6-2 ビームインナー内臓の場合

❶[13]-①、[13]-④、[13]-③でビームブラケットを柱に取付けてください。
❷[13]-②、[13]-④で手すりビームをビームブラケットに取付けてください。

7. コーナーブラケットの取付け ※サークルタイプ専用に必要な取付けです。

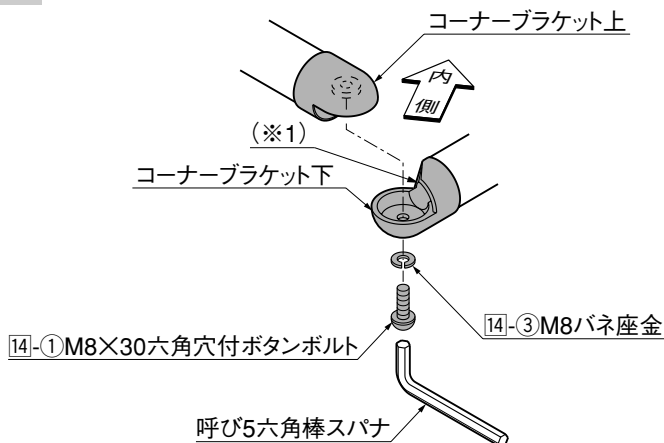
7-1 コーナーブラケット上の取付け

手すりビーム
コーナーブラケット上
[14]-③M8バネ座金
[14]-②M8×20
六角穴付ボタンボルト

❶[14]-②、[14]-③でコーナーブラケット上を手すりビームに取付けてください。

7-2 コーナーブラケット下の取付け

手すりビーム
コーナーブラケット下
[14]-③M8バネ座金
[14]-②M8×20
六角穴付ボタンボルト

❶[14]-②、[14]-③でコーナーブラケット下を手すりビームに取付けてください。

7-3 コーナーブラケット上下の組付け

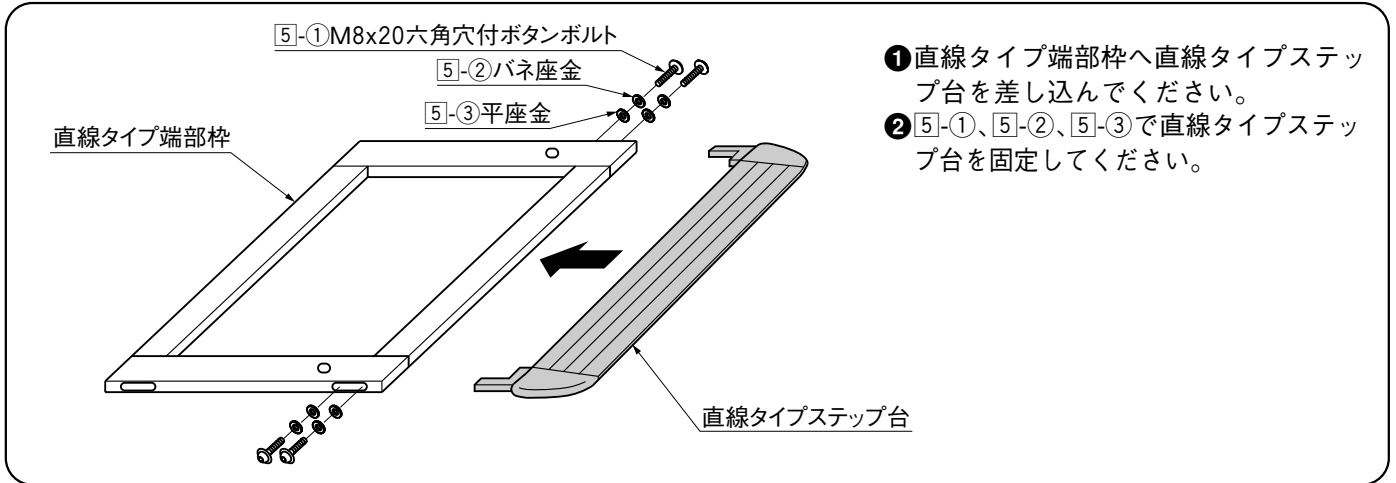
コーナーブラケット上
内側
(※1)
コーナーブラケット下
[14]-③M8バネ座金
[14]-①M8×30六角穴付ボタンボルト
呼び5六角棒スパナ

❶[14]-①、[14]-③でコーナーブラケット上とコーナーブラケット下を組付けてください。

ポイント

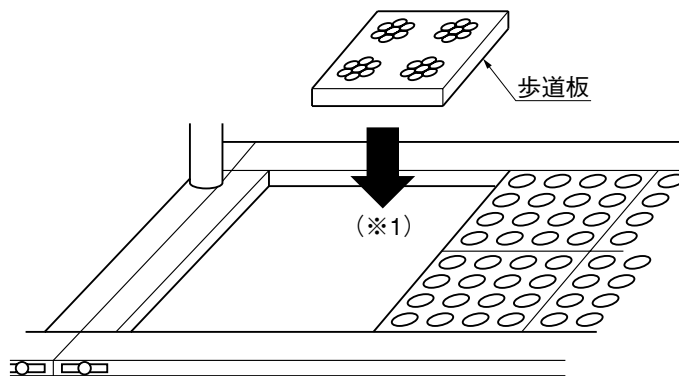
- コーナーブラケットのくぼんだ側(※1)が内側に向いていることを確認してください。

200111A

8. 直線タイプステップ台の取付け ※直線タイプ専用に必要な取付けです。

❶直線タイプ端部枠へ直線タイプステップ台を差し込んでください。
❷5-①、5-②、5-③で直線タイプステップ台を固定してください。

9. 歩道板のはめ込み方法

※枠1800セットの場合、9-1 のように仮にはめ込み、隙間が目立つ時は 9-3 の手順に従ってください。

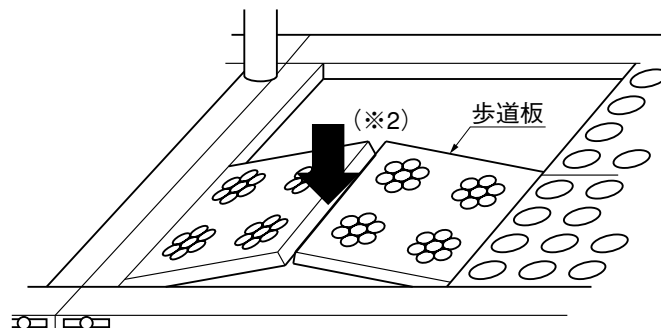
9-1 基本のはめ込み

❶本体枠を連結した後、歩道板を本体枠内にはめ込んでください。(※1)
配列順序は「1.プラン」を参照してください。

ポイント

- スタート位置には歩道板「SS−10」を使用してください。
- コーナー部には方向性の無い歩道板「SS−1」、「SS−3」、「SS−4」、「SS−10」を使用してください。

補 足

- 正規の歩行順序は「SS−10」→「SS−1」→「SS−2」→「SS−3」→「SS−4」→「SS−5」→「SS−6」です。この順序は、刺激度及び形状パターンを考慮したものです。

9-2 はめ込みにくい場合

❶図のように歩道板同士を山形に突き合わせ、矢印部分(※2)をたたいてはめ込んでください。

補 足

- さらにはめ込みにくい場合は、木づちを使ってください。

進行方向無し	進行方向 ↑	進行方向無し	進行方向無し	進行方向 ↑	進行方向 ↑	進行方向無し
歩道板SS-1	歩道板SS-2	歩道板SS-3	歩道板SS-4	歩道板SS-5	歩道板SS-6	歩道板SS-10

200111A

9-3 枠1800セットで隙間が目立つ場合

A部

50×30枠材

歩道板設置スペーサー（※1）

50×30枠材

10mm

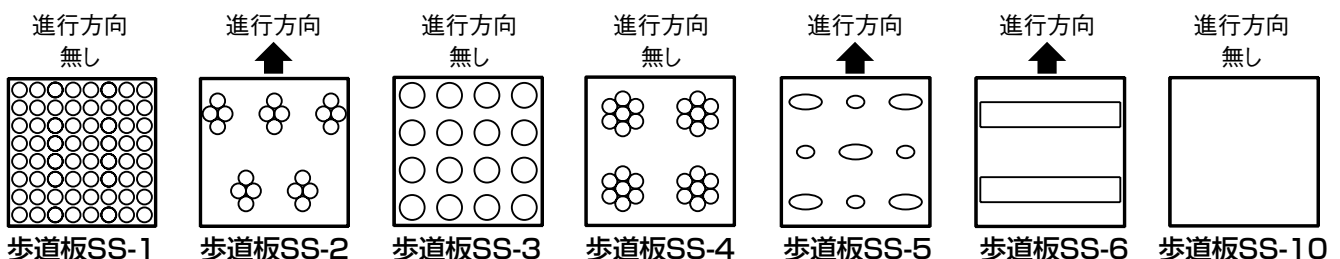
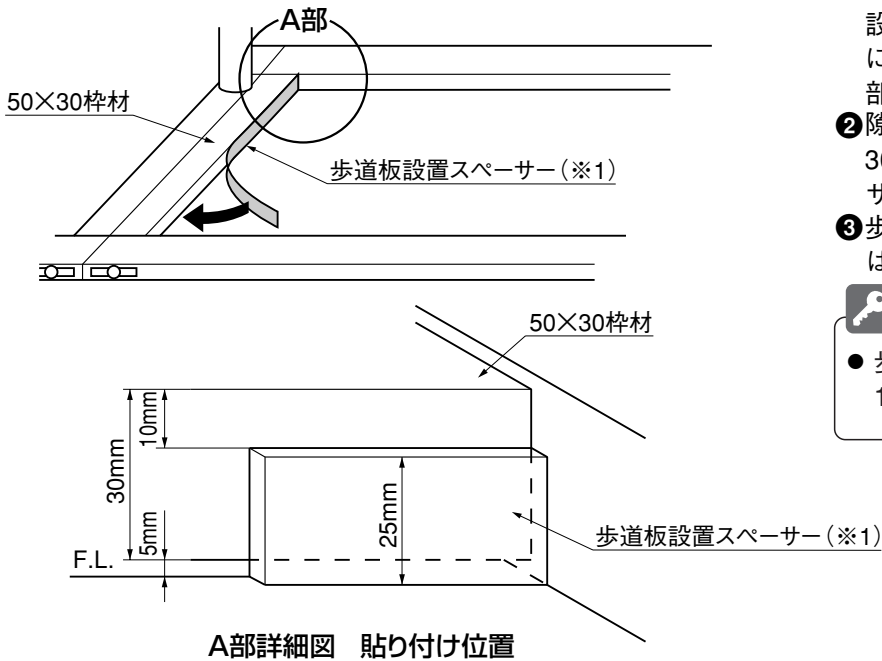
30mm

25mm

5mm

F.L.

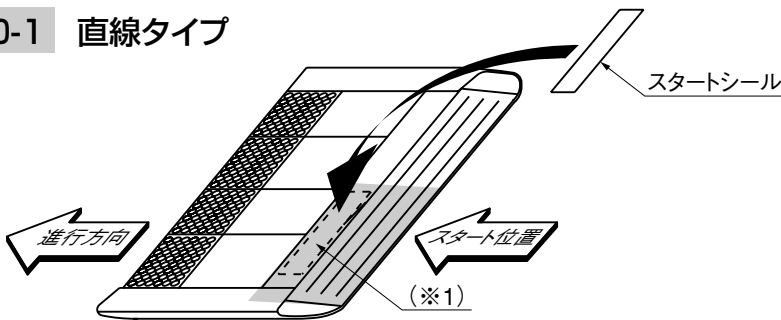
歩道板設置スペーサー（※1）

A部詳細図　貼り付け位置

❶歩道板をはめ込んだ時に隙間が目立ったり、歩道板が動く場合には、歩道板設置スペーサー(※1)を各本体枠の寸法に合わせて切断し、50×30枠材の内側部分に貼ってください。
❷隙間が大きい場合には、対面側の50×30枠材の内側部にも歩道板設置スペーサーを貼ってください。
❸歩道板を歩道板設置スペーサー側からはめ込んでください。

ポイント

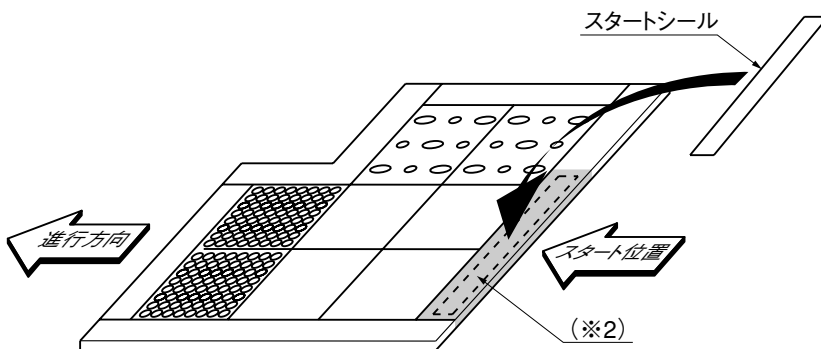
- 歩道板設置スペーサーの設定は、枠1800セットだけです。（※1）

10. スタートシールの貼付け

10-1 直線タイプ

❶スタート位置の本体枠（※1）にスタートシールを貼付けてください。
❷案内サインを「1.プラン」の図を参考にして設置してください。

注 意

- 案内サインは通行等の妨げにならない見え易い位置に必ず設置してください。

10-2 サークルタイプ

❶スタート位置の本体枠（※2）にスタートシールを貼付けてください。
❷案内サインを「1.プラン」の図を参考にして設置してください。

注 意

- 案内サインは通行等の妨げにならない見え易い位置に必ず設置してください。

取説コード
F187

200111A_1001
200312B_1001